

会議名	令和4年度 第1回 愛荘町の国民健康保険事業の運営に関する協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和4年7月26日(火) 19時30分～20時55分
開催場所	愛知川庁舎 2階 大会議室
出席者	被保険者代表 石沼林三郎委員、関 りん委員 保険医・薬剤師代表 森野尚子委員、上林俊明委員(遅刻) 公益代表 林 章司委員、小杉朝栄委員、宇野久七郎委員
欠席者	武久典子委員
事務局	町長 有村国知 政策監(福祉) 森まゆみ 住民課課長 越後聡美、課長補佐 久保川美晴、主任 中島愛見 税務課課長 本田有弘、主任 土坂英理子 健康推進課課長 木村美紀
傍聴者	0人
議 題	令和3年度愛荘町国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算(案)について 税率改正に伴う今後のスケジュールについて
審議内容	別紙のとおり
問い合わせ先	住民課 担当 久保川 連絡先 0749-42-7692

(開会)

1) 会長あいさつ

2) 町長あいさつ

3) 議事録署名委員の選出について

議長(会長)の指名により、石沼委員、小杉委員に決定。

4) 令和3年度愛荘町国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算(案)について

事務局説明の後、質疑・応答

- ・(委員) 被保険者数が減少しているということですが、何か特別なことがあったのでしょうか。
- ・(事務局) 国保の被保険者は減少傾向にあります。社会保険制度の適用拡大等により減少していました。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による失業等があり国保加入者が増えましたが、今後は団塊の世代の方々が後期高齢者医療制度へ移行することにより被保険者は減少すると予測されています。令和2年度は減少する予定でしたが、増加となりました。
- ・(委員) 令和2年度は、経済状況や雇止め等により国保加入者が増えましたが、令和3年度以降は団塊の世代が後期高齢へ移行されるため、今後、国保加入者は減っていくと考えられるでしょう。また、企業でも70歳ぐらいの方を継続して雇用するところもあるため、ますます被保険者数は減少するでしょう。国保加入者が減少していく中でどう運営していくのか検討していくことが必要となります。
- ・(委員) 繰越金額が2,500万円程度あることは、どう判断されているのですか。
- ・(事務局) 令和3年度については、保険税が予測よりも多く収納されたという現状がありました。悪いことではないと考えていますが、税率を決定する際の判断としては難しい部分であります。新型コロナウイルス感染症の影響により全体的な所得が下がると予測していましたが、愛荘町は所得が下がりませんでした。税率を下げながらも、予定していた金額よりも収納が多かったため繰越金ことができました。また、県からの補助金等も予算より多くいただいています。繰越金および基金の運用については、税率を決定するうえでも必要なことです。今後の運営協議会にて委員の皆さまと十分な協議を行って参りたいと考えています。
- ・(委員) 予算額と決算額の差についてはどの部分が重要なのか教えて欲しいです。基金について、令和3年度は2,400万円の積立、令和2年度については4,000万円の積立を行ったとありますが、積立

金額が減っていると思われます。積立について何かルールがあるのでしょうか。

- ・（事務局）基金への積立の割合等を決めるということはしていません。令和2年度については、医療給付費が下がり、繰越金が増額することが予測されました。繰越金の金額を2,000万円程度としているため、それ以上の金額になる部分について積立を行いました。

歳出予算から見てどの部分の支出が減ったのかということですが、医療の受診等については見込みを立てることは非常に難しい中で、今までの動向等を確認しながら予算計上しています。実際には医療給付費なり高額療養費なりが、令和2年度に比べると増額となったが、予算計上に対しては増えなかったことが関係していると考えています。

- ・（委員）基金の活用について、方向性を考えていかなければならないと思います。基金があるなら保険税率を下げてはという意見が出てくるかと思いますが、下げると今度は上げるのが難しくなります。その差をできるだけ少なくするように考えていきたい、気をつけていきたいと考えています。
- ・（委員）これで、令和3年度 愛荘町国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算（案）について承認をいただいたということにしたいと思いますが、よろしいですか。
- ・（委員）異議なし

5) 税率改正に伴う今後のスケジュールについて

事務局説明の後、質疑・応答

（質問・意見なし）

6) 次回の開催日について

■次回開催日

令和4年11月末か12月末

（閉会）